

華川中学校閉校式式辞

新たな命を育む春の息吹を感じる今日、華川地域における教育の拠点として、長い伝統を築いてまいりました北茨城市立華川中学校が閉校の時を迎えております。

本日の閉校式を挙げるに当たり、ご多用の中、ご列席を賜りました来賓各位に厚くお礼申し上げます。また、ご参列いただきました卒業生、在校生の皆様、並びに保護者の皆様にも心からお礼申し上げます。

昭和22年に多賀郡華川村立華川中学校として開校以来、74年の長きにわたり6,729名の生徒の成長を見届けてきた華川中学校は、地域の皆様と密着した教育環境での学校運営でありました。親、子、孫と何代にもわたって学び通った家庭も多くあり、その歴史は単に学校運営だけではなく地域の方々にとっての歴史ではなかったでしょうか。「自律」「勤労」「協和」という校訓の下、本市、いや、日本の未来を担う若者たちを送り出してきました華川中学校は、思春期という大切な時期である中学時代を、物心共に、穏やかで心の通った環境で支える、すばらしい学校であったと思います。

同窓生の方々にとってはかけがえない母校、そして多くの皆様に愛されてきた学校の歴史が閉じてしまうことは、関係各位におかれましては言葉では言い表せないほどの寂しさを感じておられることと心中深く拝察いたします。しかし、閉校となりましても、今日までの輝かしい歴史・培われた伝統は決して絶えることなく、いつまでも受け継がれていくものと確信しております。

一つの伝統の終息は終わりではなく、より広く、一層の深みを得て波及していく。生を終えた大木の使命は、次の世代に生を引き継ぎ、繁栄させていくためと考えています。正に、華川中学校の閉校は「新磯原中学校」の歴史の始まりであります。

これから、卒業生の皆さんは「自らが選んだ道」で、在校生の皆さんは「新磯原中学校」で、多くの新しい友人と出会い、触れ合いながら、日々精励されることと思います。どうか、様々な試練が皆さんの前に立ちばだかつて、「花園の山 ゆるぎなし」「花園の水 はてしなし」と校歌に謳われるように、ここで学んだ知識と教えを生かし、克服して行ってください。そして、地域の皆様に愛され、見守られながら、仲間と共に過ごした尊い青春の日々を忘れることなく、それぞれの目標に向かって邁進してほしいと切望するところでございます。

行政といたしましても、新しい中学校の教育環境の充実も含め、本市教育の学力向上と、更なる振興に全力で取り組んでまいり所存でありますので、関係各位におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、これまで華川中学校に多大なご支援とご協力を賜りました地域の皆様を始め、本校にゆかりのある多くの皆様に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、卒業生並びに在校生の皆さんの新しい未来が、輝かしいものでありますことを心から祈念申し上げ、閉校式の式辞といたします。

令和3年3月24日

北茨城市長 豊田 稔